

# 栃薬工だより

第10号

## 【第42回栃木県公衆衛生大会及び第40回栃木県公衆衛生学会開催】

平成14年9月9日（月）、栃木県総合文化センターにて行われました。

### 第42回栃木県公衆衛生大会

今回は、ジェーピーエス製薬(株)の佐藤繁喜副会長が、保健衛生事業功労者大会長表彰（薬事部門）を、受彰されました。

また、昨年行われました第39回栃木県公衆衛生学会において、「医薬品メーカーとしての環境への取り組み」を発表されました杏林製薬(株)野木工場の猪瀬関男様が、環境保健の部で、平成14年度栃木県公衆衛生学会長表彰を受彰されました。

このほか、日本サーファクタント工業(株)宇都宮事業所様が、食品衛生優良施設の部で大会長表彰を受彰されました。



ジェーピーエス製薬(株)  
佐藤 繁喜 様



杏林製薬(株)  
猪瀬 関男 様



日本サーファクタント工業(株)  
荒井 邦男 様

### 第40回栃木県公衆衛生学会

午後から行われた学会では、第7回GMP関連研修会において演題を発表した日本理化学薬品(株)様、三菱ウェルファーマ(株)様、グラクソ・スミスクライン(株)様、マニー(株)様の計4社が、栃木県保健福祉部薬務課長の小林暁弘座長のもと、発表を行いました。



「原薬のFDA査察」  
日本理化学薬品(株)  
松木 俊行 様



「PTB包装機の充填機改善  
とシート検査機の検証」  
三菱ウェルファーマ(株)  
田口 一夫 様



「海外における錠剤定量法  
への近赤外分光法の適用事例」  
グラクソ・スミスクライン(株)  
竹内 雄一 様



「ISO9001・CEマーキング認証取得後の  
監査機関の監査状況等について」  
マニー(株)  
関 政啓 様

第一線で活躍される方々の発表をお聞かせ頂き、大変有意義なひとときでした。発表者の皆様、ありがとうございました。



学会風景

## 新役員あいさつ

春の定期総会における役員改選に伴い新しく就任された役員の方々からの御挨拶です。

### 栄研化学(株) 高坂 勇造 様



この度、前任の石橋から引き継いで理事をつとめさせていただくことになりました。苗字を漢字で書くと、ほとんどの方はタカサカとしか読んでくれません。正しくは重箱読みのコウサカです。

故郷の青森市から1971年に上京、診断用医薬品の総合メーカーである栄研化学に入社しました。これまで一貫して研究開発関係の業務に携わってきましたが、本年6月26日付組織変更により、那須事業所勤務となりました。生産体の長としてまた事業所の代表として、全体の業務を統括する立場にあります。なにしろ生産部門は初めての経験となりますので不慣れなことが多く、毎日が緊張の連続といってもよいくらいです。

このような状況ですから、理事会に参加させていただくにあたって、ご迷惑をおかけするのではないかとたいへん心配したものでした。幸い先輩理事の皆様は、超ベテランしかも親切な方達ばかり、とても心強く今後大いに助けて下さるものと期待を寄せているところです。

できるだけ早く工業会の活動を理解し、会の発展に少しでもお役に立てるよう努力する所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 三菱ウェルファーマ(株) 中澤 進三 様



この度、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました三菱ウェルファーマ(株)足利工場の中澤です。宜しくお願い致します。

三菱ウェルファーマ(株)は、新薬創出の効率化と世界市場の拡大を目的に昨年10月、旧三菱東京製薬(株)とウェルファイド(株)が合併・誕生した製薬会社で、脳保護剤や循環機能改善剤、肝・胆機能改善剤、精神安定剤等を中心に製造販売しております。

私は、入社以来約30年間工場技術及び製品企画部門に身をおき、医薬品製剤の品質設計や工程改良の仕事に従事してきましたが、今年の合併を機に旧三菱東京製薬(株)本社から足利工場に異動し、今年4月から工場長に就任致しました。

当工場は、肝・胆機能改善剤ウルソや新生児呼吸窮迫症候群治療剤サーファクテン等固形製剤、滅菌・無菌製剤、液・軟膏剤と幅広く製造している製剤工場です。またこの10月には、当社小容量注射剤の足利工場集約がほぼ完了し、滅菌・無菌製剤の生産比重が益々大きくなってきますが、品質、コスト、スピードをモットーにクレームを出さない工場を目指して努力する所存であります。

終わりになりますが、栃木県は、今や医薬品の生産額で第5位、医療用具で第1位の地位にあり、全国有数の医療関連振興県として成長を遂げておりますが、今後益々企業倫理を重視した薬事工業会として発展できますよう貢献して参りますのでご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

### 杏林製薬(株) 松本 臣春 様



今年度から栃木県薬事工業会の理事に就任いたしました杏林製薬株式会社の松本臣春と申します。私は営業部門に所属していたとき宇都宮営業所長として栃木県に大変お世話になりました。1年半前異動により生産部門の野木工場に所属したことは、栃木県と何かの縁でつながっていると思えてなりません。特に栃木県に愛着を感じます。栃木県薬事工業会においては1974年の創立以来28年という長期にわたる活動を展開している会であり、その伝統ある薬事工業会の理事として就任いたしましたことは、光栄であるとともにその責任の重さを痛感いたします。

薬事工業会は定期総会をはじめ、栃木県公衆衛生大会表彰、GMP関連研修会、ISO研修会、県外優良施設現地視察研修会、本誌「栃薬工だより」の発行など非常に精力的な活動を展開しています。私は薬事工業会の規約の「本会は社会的使命を自覚し、県下関係業者の強力なる団結により相互の親睦融和を図り、関係当局と密接なる連絡のもと薬事衛生の向上及び生産増強に努めることを目的とする」主旨を理解し、今後の薬事工業会の発展に微力ながら尽力いたしたく思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

全薬工業(株) 川俣 義明 様



この度の役員改選に当たり、監事を引き受けさせて頂くことになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

昭和60年に当工業会に入会させて頂き、医薬品・医薬部外品製造業として大過なく今日迄を迎えられました事は、県の薬務課の皆様方の並々ならぬご指導とご支援、そして当工業会会員の皆様のご援助の賜物と深く感謝いたします。

業界として薬事法の大改正を受け、国際化に対応すべく大きく変貌・発展を遂げなければならないこの時期に、役員に加えて頂きました責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

誠に微力ではありますが、栃木県薬事工業会の更なる飛躍と加盟会員企業の皆様の益々のご発展に、お役に立てますよう努めさせて頂きます。

薬務課の皆様方の更なるご指導とご支援、当工業会会員の皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げまして就任の挨拶と致します。

花王(株) 脇 義博 様



今年の4月初め、前任者の退職により監事を引き継ぎ、この度の平成14年度総会で改めて監事に就任致しました。私共の花王(株)栃木工場は、市貝町工業団地で昭和50年に医薬部外品の製造を開始するとともに栃木県薬事工業会に入会し、現在に至っています。

事業場内には6つの研究所が併設されており、基礎研究から製品開発までの幅広い研究を行っています。新しい技術や製品の開発では、企画～開発～試験～製品化の段階で工場と研究所が一体となって参画し合い、知恵を出し合い、協力体制を密にした一体型事業場として生産活動を推進しています。又、事業場内の研究センターで、常に作られた製品の安全性を評価・確認しています。

薬事工業会の監事企業として、工業会活動に貢献出来ます様努力すると共に、栃木県薬務課のご指導のもと、会員企業の皆様方と薬事工業会を盛り上げていきたいと考えておりますので、御指導及び御協力をお願い致します。

日研化学(株) 平林 康文 様



10月に前任者転勤により理事を引き継ぐことになりましたので、ご挨拶を申し上げます。私ども日研化学(株)真岡工場は昭和46年に真岡第一工業団地で医家向け医薬品の製造を開始しました。「明日の健康を考える日研化学」をモットーに、当工場では、高品質の医薬品を提供すべく先端技術を導入した生産設備と厳重な品質保証体制により生産活動を行っています。栃木県薬務課の御指導と栃木県薬事工業会には日頃より大変お世話になっており感謝を申し上げます。薬事工業会の会員企業として、また理事として微力ではありますが薬事工業会の活動の手助けが出来るよう努めさせて頂きます。

フォルテグロウメディカル(株) 薄井 和宏 様



この度、理事に就任させて頂く事になり、就任の御挨拶と自己紹介をさせて頂きます。弊社はディスプレイ医療用具を主として、輸血及び輸液セット、血液回路及びカテーテル等の製造及び販売をしております。社内における私の業務として、品質管理及び品質マネジメントシステムの構築と維持の活動を中心に行っております。

現在、品質管理体制として許可要件GMP及びGMPIに準じて管理しているとともに、2000年5月にISO9001認証取得、翌年2001年にはEN46001及びCEマーキングを取得致しました。これらの品質マネジメントシステムを導入したことは、医療用具を製造する中で、品質維持及び向上の為に非常に効果的でありました。このシステムの中でお客様の要求が満足でき、かつ安全な製品を供給する為に社員一丸となり努力しております。

今後、業界を取り巻く環境は、薬事法改正、規制緩和等を大きく推移しており、このような変化へ対応していかなければなりません。その為に、本工業会において情報交換を積極的にさせて頂くとともに、本工業会の発展の為に微力ながら協力させて頂きたいと考えます。今後とも、皆様のご協力及びご指導の程宜しくお願い致します。

# ちよつとイイ話

会員の皆様からの投稿のコーナーです。  
第10回目は、**日研化学(株)** さんです。

こんにちは日研化学株式会社です。我社は昭和22年（1947年）に抗生物質専門の製薬会社として操業を開始し、現在では新薬研究開発はもとより、呼吸器・循環器系用薬剤の医療用医薬品の製造販売を展開している製薬メーカーです。

当真岡工場は大宮工場とならんで当社の生産活動の両輪として活動しています。1971年に真岡市の第一工業団地内に乳酸菌製剤、健胃消化剤の製造から始まり、現在では粉剤はもとより特に持続性タイプの錠剤、顆粒剤などの固型製剤と1999年からは注射剤（プラスチックバッグ形の輸液）など計27品目の製品が高度な製剤技術と厳しいGMP管理のもとに生産され、人々の健康づくりに貢献しております。



## うちの看板むすめ

写真左から…

**稲見 妙子さん（製剤第一課）**

思い立った時に、海外や国内を旅行してリフレッシュすることが楽しみの一つです。今度は海のきれいなところに行きたいなあ、と思っています。

**広瀬 友子さん（品質管理課）**

このところ運動不足なので、健康のためにもと、プールに通い始めました。久しぶりに泳いだら楽しくて、冬のスノーボード以外にもまたひとつ楽しみができました。

**野原 晶子さん（製剤第二課）**

出先でのステキな風景を残しておきたくて、カメラを始めようと思っています。これから秋が訪れ、もみじの葉が色づく日を楽しみに待っている今日この頃です。



次号はグラクソ・スミスクライン(株)さんです。どうぞお楽しみに！

## 編集 後記

この秋、紅葉を見にお出掛けになりましたか。週末になると、自分だけの名所(人の少ない所)を求めて、ドライブに出掛けています。

春は花見、夏は花火大会、秋は紅葉狩りそしてこれから訪れる冬は…

皆さんは何を楽しみにしていらっしゃるでしょうか。ちなみに私は温泉巡り。(が、できたらいいなあ)

発行日 平成14年11月27日  
発行所 栃木県薬事工業会  
宇都宮市戸祭元町1-25  
栃木県保健福祉会館内  
TEL (028)650-6163